

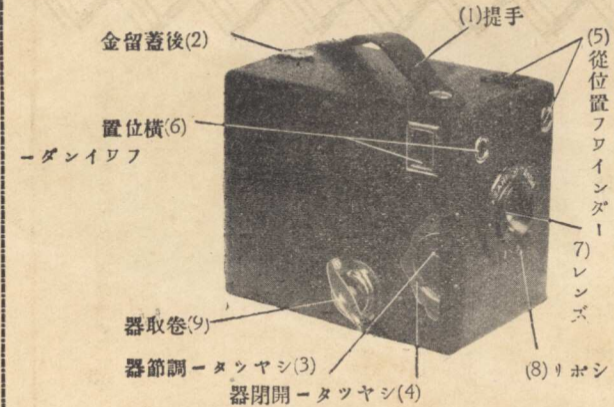
るせ 寫るすも でんさ 供子

アサヒカメラ



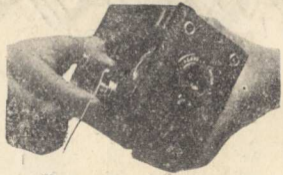
TOKYO FIRST CAMERA WORKS.

アサヒカメラは初心者の爲特に造られた使ひよい極めて簡単なカメラで、フキルムを入れて、シャツターを押しさえすれば、初めてのお方でも、お子様方でも、容易く立派な寫眞を撮る事が出来ます。機械は、ファストカメラやミクニカメラの國産高級カメラ製作所として、既に定評のある、ファストカメラウオークスの責任製作ですから安心して御使用が出来ます。次に誰方が讀んでも直ぐ解る様に取扱ひから、撮し方、現像焼付迄の詳しい説明をしておりますから、よくお読み下さい。



◇アサヒカメラ 一臺
 ◇現像液 一本
 ◇定着液 一本
 ◇電燈燒印畫紙 六枚
 ◇燒杯 一個
 ◇現像用パット 二個
 ◇暗室燈應用の箱 一個

附屬一式付
 定價
 三圓十五錢



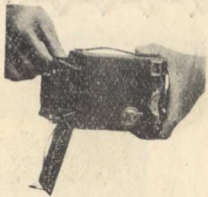
①

(1)の巻取り器を矢の方向に廻し乍ら引きますと、約三分位抜けましたら抜いたら



②

(2)の後蓋留金を外し、蓋をあけて……



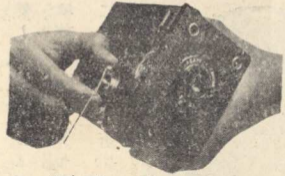
フィルム取收器を取り出します。

フィルム収容器

上段にフィルムを取付け下段に空軸を取付けます。

空軸は芯棒の端に切目のある方を巻取り器と一致させます。





巻取器を矢の方向
 に廻し乍ら押しま
 すと、箱の中の巻
 取軸の割れ目が巻
 取器にピッタリは
 まります。



次に、フイルムの
 巻いてある方を上
 にして元の通り箱
 に収めます。
 収めたら、後蓋を
 ピチット閉めて



巻取金具の真中の切目に
 赤紙の端を差
 込二三回手で
 廻してはづれ
 ない様に致し
 ます。



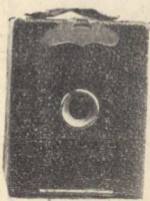
巻取器に
 一致させ
 る割れ目



フイルムの帯を
 解き赤色の方を
 外側にして、先
 端を持つてゆる
 く引き、下
 部の巻取軸に持
 つて行きます。

以上でフキルムの装置は終了しました。

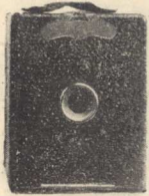
然しまだフキルムは出て居りませんから後部の赤窓を見乍ら、巻取器を矢の方向にぐんぐん十五六回お廻しになります。第一圖の様に指さす手が出て來ます。



(圖一第)



手が出て來るこ、もうフキルムが近いと云ふ知らせですから、今度はゆるゆると三四回お廻しになります。第二圖の如く、赤窓に「1」と云ふ字が出て來ります。



(圖二第)



これでフキルムの第一番が出て來たので、

すから、もうシャッターを押さえずれば寫ります。

お寫しになる注意

(一) お寫しになる時は、なるだけ明るい處をお選び下さい。そして必ず光線が背後から來る様にして下さい。前から來る光線は、逆光線と云つて初めての前方には寫し難いものであります。
(二) お寫しになるものから六尺以上離れてお寫し下さい。六尺以内は定焦點外ですから、寫真がボケて仕舞ひます。

(圖三第)
- タツヤシ



(三) シャッターは瞬間撮影と時間撮影の二種を備えて居ります。即ち第一圖Aを押せば開き、好みの時間だけ露出を與へて手を放せば閉ちます。瞬間撮影

は、第二圖Bを引き出して、A

を押したゞけで瞬間に開閉致します。

(四) 開閉器を押す時には、靜かに、カメラを動かさぬ様特、御注意下さい。

(五) 瞬間撮影(I)の場合には少し位動いてあるものでも寫せますが、タイム(T)の時には、カメラを何か臺の上にも戴せて置く方が安全です。

(六) 日光直射の場合はIでお寫し下さい日蔭でも、四・五・六・七・八・九・十月の様な光線の明るい時はIでよろしい。十一・十二・一・二・三月の様

な光線の弱い時は、一秒から五秒位の室内や曇つた日の光線の明るい月は三秒から五六秒、光線の弱い月は五秒から八秒でよく寫ります。

(七) 手で持つてお寫しになる場合には、後部の赤窓の處を胸のあたりに當て、

位置見に依つて被寫体を覗き乍ら寫

します。位置見は上と横とに二つ付

いてありますから、上は縦位置の時、横は横位置の時、お使い下さい。

(八) 夏の季節や、空・雲・海・雪等を寫す時には、第四圖の絞りを2にして下さい。

絞りは自由に調節出来ます

(九) フキルムは一卷四枚巻で、1から順次4まで寫し済になれば、全部巻きこ

つて、装置する時の要領でカメラから取出します。巻き取つたフキルムには

封印紙がついて居りますから、固く巻き締めて封をして下さい。この場合日光の直射せぬ所なら、明るい所でも差支へありません。

(圖四第)

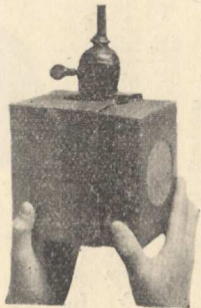


絞りは自由に調節出来ます

寫して濟んだら現像を

現像は押入か又はお部屋を外からの光線が少しも這入らない様にして、カメラの箱を(第五圖)の様にして電球におほひ、赤い光線に依つて致します。

(圖五第)



現像に取かゝる前に左の用意を

添付の現像皿一枚に現像液を半分位、他の一枚に定着液を半分位入れます。別に水洗ひ用の清水を何か洗面器等に入れます。

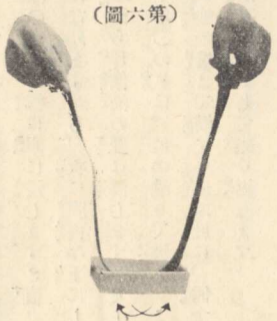
他に手拭を一本用意します。これは、現像液と定着液とは敵同志の様なもので、手についた液が這入つたのでもその力を

失ひますから、混合せぬ様、手を洗ひ拭くためのものであります。
注意 現像液の温度は華氏六十五度が適当ですが、夏は水温が高まりフィルムが溶ける慮ひがありますから、冷たい井戸水か氷に依つて調節して下さい。其反對に冬は温湯で液を多少温めて下さい。

いよく現像に……

用意が出来たら現像に取りかゝりますが先づ、巻を伸して裏の紙や巻軸を全部取去ります。次にフィルムを両端を持つて気泡のつかぬ様に水に浸します。直ぐ柔軟になりますから、次に膜面を下にして一端から現像液の皿に浸します。そして(第六圖)の様、他の端まで浸し、これを又他の端まで浸すと云ふ風に、何十度も両手を上下して繰り返します。

(圖六第)



これを繰り返してゐますと、だん／＼に黒い繪が現れて、すぐ立派な寫眞になります。明暗は實物と逆で所謂陰畫になつて居ります。

然し、まだ皿から出してはなりません。尙、上下を繰り返してゐますと、全面は一樣に黒ずんで、果ては先刻まで折角明瞭に見えた陰畫も黒つぼくわからなくなる程度にまで進めば、これを再び洗面器で水洗ひ致します、これは現像液を洗ひ流すためですから、清水の中で二三回、上下を繰返すだけでその目的を達せられます。

次に定着に移ります

水洗ひが終つたら、定着液の皿で、前と同様全面に液が平均に作用する様注意し現像同様絶えず上下にします。そして、フキルムの牛乳色の部分がなくなるまで普通の明るい電燈にさらしてはなりません。この牛乳色の部分が完全になくなるまで定着を續けて、やがて全面が透明になつたら、もう現像は出来ましたのです。

現像時間その他の注意

現像に要する時間は、現像液の皿で三分位、次の水洗が二秒程、定着液の皿に十分位が普通であります。然し、この時間は必ずしも一定しては居りません。撮影の時の露出時間が永い時は短い時よりも薬液の濃い時は薄い時よりも、夏に液温

の 高たかい 時ときは 冬ふゆの 冷つめたい 時ときより も、 各々 短おのかくて すむ もの で あり ます。

さて、 現像けんさうが 終まり 定着ていぢやくが すん だら

水洗ひであります

この 場ば合あひ、 洗せん面めん器きの 水みづを 一ひと度ど取とり換かえ て フ
キキルルムムを 浸ひたし、 静しずか な 所ところに 置おき、 五ご分ぶん—
十じゅう分ぶん位くらい毎ごとに 水みづを 取とり 換かえ ます。 水みづ槽おけが 水すゐ
道みち程ほどを 利り用ようし て、 常つねに 水みづが 流ながる 様ように す
れ ば 理り想さう的てきで あり ます。 そし て、 約やく一いち時じ
間かんの 後のち、 取とり 出だし て 軽かろく 水みづを 切きり 風いざよ通とほし
の よい 塵ほこりの ない 清せい潔けつな 人ひとの 觸ふれ ない 安あん全ぜん
な 場ば所しょに、 ピンピンか 洗せん濯たく挾はさみ で さめ、 ぶら 下さ
げ て 置おき ます。

焼付けについて……………

焼や付きの 準じゆん備びは 現けん像さうの 時ときと 同おなじ で、 先まづ 現けん
像さう液えきと 定てい着ぢやく液えきと な 準じゆん備びし ます。 そし て 印いん
畫がわ紙しの 包つみを 開あけ ます。 印いん畫がわ紙しは 濕しつ氣きや 光こう
線せん洩ちれ を 防ふせぐ た め に パラ フイ ン 紙しと 黒こく色しき

紙しで 包つみん で あり ます から、 一まい枚だい出だし たら
残のこり を 又また包つみん で 置おき ます。 印いん畫がわ紙しの 感かん光こう
膜まくを つけて ある 面めんは 何なんと なく 一いっ様ように 平へい坦たん
で、 紙かみの 裏うらの 生き地ぢの 方ほうは、 光ひかり に 直ちよく角かくに
照てらさ せ る と 明あら かに 荒あらび て ゐ る 紙かみの まゝ、
の 事ことが 認みとめ ら れ ます。

注ちゆ意い 印いん畫がわ紙しの 膜まく面めんは 脂あぶら氣きや 汗あせば んだ
手てや、 水みづ氣けを 拭ふか ぬ 手てで 觸ふれ て なら ぬ 事こと
は 勿あら論ろん、 なる べ く 指さし
紋もんを つける こと を さ
ける 様ように、 初はめ の 中うち
注ちゆ意いす る と 自し然ぜんに 取と
り 扱あつかひ 方かたは 馴なれ て 來く
る もの で あり ます。
印いん畫がわ紙しの 用よう意いが 出でき
ま した ら、 添てん附ぷの 焼やき
粹わく硝ごう子すを 乾かい た 布ぬで
よ く 拭ふき 清きよめ、



(圖七第)

(第七圖)の様にして、膜面を上にし膜でない方をガラスと合わせる様に原板を置きます。次にその原板の膜面に、印畫紙の膜面を合せて重ね、すれぬ様に注意して焼杯硝子を合せます。

次に、焼付露出を與へることになります。が、その時間は、普通の原板で三十ワツト(二十四燭光)の光源で、距離一尺、露出時間三十秒程度が適當であります。



焼付露出が終つたら、印畫紙を焼杯硝子から取り出して、端を指先でつまみ現像

液の中に膜面を下にして手早く浸します。然しまだ手を離さずに、直ちに出して、再び直ちにつけると云ふ風に繰り返します。

これは膜面に液を平均に付着させるためで、又氣泡などのつかない様に注意せねばなりません。若し油断すると、液の作用が不平均になつて、地圖の様な斑點が出來たり、又、氣泡のために白い丸が残つたり致します。

五六回さうしたら膜面を上にして液に浸し手を離します。そして、絶えず皿を搖り動かし乍ら眺めて居ますと、時間で云へば十秒か十五秒位で、畫像の暗い部分から現れ初めます。

尙も續けて皿を搖り動かしてゐますと、畫像は漸次濃さを増しますが、注意して見るのは白い部分(景色なら空か水・人像なら顔や手の明るい部分)でその調子

が現れましたら、手早く清水の中に持つ
たま、浸して、二三回繰り返して現像液
を洗い流します。

次に膜面を上向にして手早く定着液の皿
に入れ、その皿を續けて揺り動かします
そして、五六度動かしたら、皿から手を
離して、後は定着作用の進行するにまか
せてよいのであります。

然し、時々皿を揺つて液を動かし、膜面
が液から外に出るのを防ぎ乍ら、十分位
して取出し、水洗ひに移れば操作を終る
のであります。

水洗ひと乾燥の注意

水洗ひの時間は長い程よく、流水で三十
分乃至一時間、時々多数の印畫紙の上下
の重なりを變えたり、水を取換えたり氣
をつけてます。

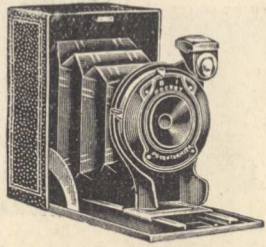
水洗ひが終つたら、乾いた布か吸水紙で

軽く餘分の水を去り、ピンかクリップで
鴨居か棚の端にでも吊して置くと、三十
分位でよく乾きます。

かうしてアサヒカメラを

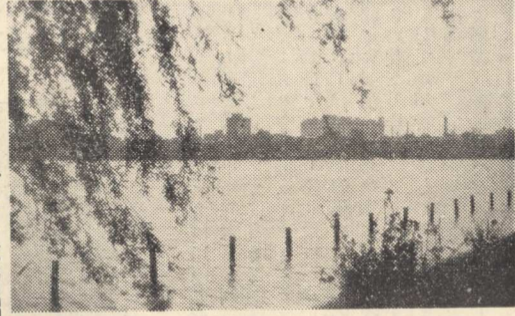
卒業したら………

アサヒカメラの姉妹品にポケットカメラ
があります。此のカメラは乾板とフィルム
△兼用で、大人の握拳の中に這入つて仕
舞ふ位の小型な、精巧なカメラでありま
す。アサヒカメラで熟練したら是非ポケ
ットカメラをおすゝめします。

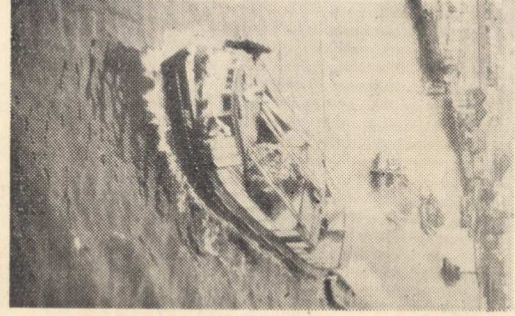


ポッケトカメラ

板乾・個一カメラ
付梓取・ムルキフ
錢拾五圓五價定



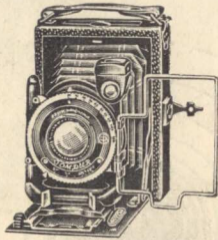
アサヒカメラ撮影(原寸大)



アサヒカメラ撮影(原寸大)

(實物並説明書最寄りの寫眞店で御覽下さい)

大衆的約高級カメラ フアストカメラ



フアストカメラはアマチュアの要求にびつたりあつた最も手頃な大名刺判(3.5×5.5)カメラで、レンズは有名な獨逸ローデンストック會社製トリナーアナスチグマツト、シヤツターは定評あるパリオ並にコンパー、小二段伸繰出付体裁優美、價格至廉、構造精巧堅牢等他の追従を許さぬ數々の特長はフアストカメラの誇りとして愛用者の等しく御賞讃下さいます。

金屬製取梓三枚、パツクホルダー付

トリナーアナスチグマツトレンズ付

- F六・三 新パリオシヤター付 三二・〇〇
- F四・五 オートパリオ 同付 四〇・〇〇
- F四・五 イブソール 同付 五〇・〇〇
- F四・五 新コンパー 同付 六〇・〇〇
- F四・五 オートコンパー 同付 六五・〇〇

フアスト ローカルカメラ



フアストカメラの姉妹品で、金屬製の大名人刺型巻フィルム用ポケットカメラ、六枚の連続撮影が出来、白晝何處でもフィルムの入替が出来るので、旅行携帯用として最も便利であると共に、スケッチ寫眞用として絶大の好評を博して居ます。機構の堅牢優美なフアストカメラと同社製品ですから其點推して知るべきで、フアストカメラと共に御愛用願ひます。

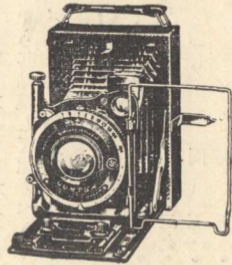
トリナーアナスチグマツトレンズ付

- F六・三 パリオシヤター付 三二・〇〇
- F四・五 同 三九・〇〇
- F四・五 プソール 同 五〇・〇〇
- F四・五 コンパー 同 五八・〇〇
- F四・五 新コンパー 同 六五・〇〇

(實物並説明書最寄りの寫眞店で御覽下さい)

(賣六並説明書最寄りの寫眞店で御覽下さい)

ラメカニクミ



ファストカメラより更に高級なものをお望みのお方には是非おすゝめしたいのは同社製のミクニカメラであります。

これは矢張り手頃なサイズである大名刺判で、機体は軽金屬製で同種カメラ中最も小型な精巧無比の高級カメラであります。

レンズは有名な獨逸ローデン、ストツクトリナーであります。

取棒三枚、バックホルダー付
トリナーアナスタグマツトレンズ

- F六・三 新バリオシヤター付 四〇〇〇
- F四・五 オートバリオ 同付 四八〇〇
- E四・五 イブソール 同付 五八〇〇
- F四・五 新コンパー 同付 六五〇〇
- F四・五 オートコンパー 同付 七五〇〇

アサヒカメラ

附屬品値段表

アサヒカメラには、撮影から、現像焼付までの一切の附屬品がついて居りますが、御使用済になつたら新しくお求め下さい。

品名	數量	定價	送料
フキルム一卷	四枚卷	二五	〇
現像液	大一本	三五	〇
定着液	大一本	二〇	〇
電氣焼印畫紙	打一本	一五	〇
燒型マスク	打一本	一五	〇
臺紙	十枚	二五	〇
寫眞ブック	大冊	六五	〇
現像定着皿	中冊	三五	〇
三脚木製	小冊	二五	〇
同金屬製	一本	一〇	〇
カメラ入	一個	三〇	〇
ケイカメラ	一個	〇〇	〇
近距離撮影	一個	五〇	〇
スクリーン	一個	五〇	〇
引伸器	一臺	三〇	〇
引伸用印畫紙	一打	六五	〇



名古屋廣小路通リ榮町二丁目

山本五郎商店

電話本局(2)三三三二番